

## 第2回ノーメディアデーの取組結果について

本年度2回目のノーメディアデーを三中校区の幼稚園、保育所、小学校、中学校でいっせいに、11月16日から11月20日までの5日間実施しました。植柳小学校での集計結果をお知らせします。ご協力ありがとうございました。

### 1 回収率と実施率

回収率 たくさんの回答ありがとうございました。

259人／262人 98.5% 過去最高です！

実施率（1日以上取り組んでいただいた家庭）

240人／262人 91.6% 過去最高です！

### 2 実施日数

取組日数	前回（7月）		今回（11月）		前回に比べ3、4日の取組の割合が増えています。
① 1日	85人	34.8%	83人	32.2%	
② 2日	41人	16.8%	29人	11.2%	
③ 3日	23人	9.4%	37人	14.3%	
④ 4日	17人	7%	25人	9.7%	
⑤ 5日	59人	24.2%	53人	20.5%	
日数不明	5人	2%	13人	5.0%	

### 3 取り組んだコース

コ ー ス	前 回	今 回
①家族で楽しく食事コース（食事中は、ノーテレビ・ノーゲーム）	142人	153人
②テレビやゲームを消しておやすみコース（夜9時以降は、ノーテレビ・ノーゲーム）	97人	92人
③テレビやゲームを消してリラックスコース（夜8時以降は、ノーテレビ・ノーゲーム）	31人	31人
④たっぷりおしゃべりコース（帰宅してからノーテレビ・ノーゲーム）	29人	24人
⑤今日は見ないぞ、しないぞコース（1日中ノーテレビ・ノーゲーム）	23人	19人

※複数のコースに取り組んでいただいた家庭がありますので、合計の人数が違います。

※取り組みやすい①コースが最も多く、次いで②コースが多くなっています。

### 4 実施後の感想

主なコメント	前回	今回
① 家庭での会話が aumentata.	108人	125人
② 早寝早起きができた。	73人	63人
③ 楽しく食事ができた。	113人	136人
④ 家族でよい時間が過ごせた。	104人	112人
⑤ 読書ができた。	54人	51人
⑥ よく勉強できた。	45人	49人
⑦ ゲームの時間が減った。	47人	46人
⑧ これから習慣づけたい。	74人	91人
⑨ その他	9人	6人

①会話が aumentata ③楽しい食事ができた④家族でよい時間が過ごせたとの感想がいずれも100人を越え、多くなっています。また、⑧のこれから習慣づけたいも増えていて、積極的な取組が伺われます。

## 5 「私たちの道徳」の感想

ノーメディアデーに併せ、今回も各自「私たちの道徳」を持ち帰り、指定のページを家族で読むという取組を行いました。多くの感想が寄せられましたので、代表的な感想を紹介します。

### ◎1年 「およげない りすさん」(ともだちとなかよく)

- ・お友だちとの関わり方、相手の気持ちになってみんなで仲良くすごしたいね。学校での生活でも一緒だよと話合いました。
- ・仲間はずれをしたり、人の嫌なことはいらないでおいねと話しました。思ったことをすぐ口に出すのではなく、一度考えようか、とも話しました。
- ・何でもみんなが同じペースで遊べるわけではないので、「苦手なことをできる子が助けながらみんなで仲良くあそべるといいね」と話をしました。

### ◎2年 「はしの上のおおかみ」(あたたかい心で親切に)

- ・「人にいじわるなことをして楽しい人は悲しい人。人に親切にして喜んでもらえる人は幸せな人。人はみんな優しい心を持っているし、やさしさをいくらやっても減らないし、何倍にもなって自分に返ってくるんだよ。」と話しました。
- ・「くまさんが親切にしてくれた事が嬉しくて、それを皆にしてあげるオオカミはすごいね。」と話しました。その方が気持ちがいい事を知ったのですね。

### ◎3年 「6セント半のおつり」(正直に明るい心で)

- ・(子) リンカーンは10kmも寒い中歩いて、お客さんのところまで行くなんてすごいなと思いました。(親) つらい、大変とやめることは簡単だけど、相手のことを一番に考え、すぐに行動できるような人になりたいねと話しました。
- ・次の日にまわしたいくらいの金額なのに、その日に済ませるという心がすばらしいねと話しました。その様な積み重ねが大統領までになられたんだらうなあと子どもと話をしました。

### ◎4年 「心と心のあく手」(相手を思いやり親切に)

- ・(親) 相手の気持ちになって、親切な心をいつも持っていたいねと話合いました。(子) 思いやりの気持ちをわすれずにいたいです。
- ・「ぼく」はその状況に合わせた心づかいができて、おばあさんの達成感も「ぼく」の応援も通じ合ったような体験を「心と心のあく手」と感じたのだと思うと話しました。それから「見守る」「気づく」ということはその人の心によりそった応援ができる方法なんだという事を話しました。

### ◎5年 「銀のしょく台」(けんきょに広い心をもって)

- ・不幸の中にいると人は心も貧しくなりがち。人は正直でやさしい心を誰もが持っています。その心を良いも悪いも変えてしまうのも人間。今の子どもたちを幸せに導くことができるのも今の大人。思いやりのある人になってほしいならそれを子どもに手本となり見せるべきだと思います。
- ・ジャンはその後どうなったのかを考えました。私はジャンはあまえてまた何度もくり返すと言いました。お母さんは正直に生きていったということを話しました。

### 6年 「知らない間の出来事」(たがいに信頼し、学び合って)

- ・(親) 根も葉もないことを言われ、悲しい気持ちを勇気を出して言えるという行動は、すばらしいなと話しました。何事も推測で物事を語ってはいけないと話しました。(子) 私があゆみさんみたいになったら悲しいし、言うんだったらこそこそしないで直接言えばいいと思います。
- ・(子)勝手に根も葉もないことをメールで流すのはひどいなと思いました。(親) すぐメールに頼ってしまうのは危険。受け取り方は人によって違ってくるので誤解を招きやすい。



※ノーメディアデーで生まれた時間に、「私たちの道徳」を読み合わせ、感想を語り合っていたいただいたご家庭がたいへん多く、この取組が定着しつつあります。次は3学期に3回目のノーメディアデーがあります。さらに充実したものとなるようご協力をお願いします。